

市民協働事業について

～地域課題解決のために 市民が参画できる場づくりを～

森新市長は、「行政任せでなく、市民の皆様も一緒に考え、知恵を出し合い、心をつなげて共に歩み、夢と希望の持てる館山を、笑顔あふれる館山をみんなで作っていきけるよう、これからも市民協働のまちづくりを推進していきます。」として、市民が市政に参画するよう訴えています。

これを可能にするために、市民が参画できる場をつくること、市側の市民の提案を受け入れる姿勢が必要です。

無作為抽出により選ばれた市民が、市の課題について検討する「自分ごと化会議」が全国的に行われ、大きな成果を上げています。また、市民の発案、地域課題解決のチャレンジを積極的に受け入れている自治体では、地域が活性化しています。

館山市では、市民協働事業の見直し、市民が市政に参画する場づくり、市民の提案に対する市の対応の見直しを進めるべきと考えます。

秋の研修視察報告

市議となって初めて他の自治体に研修視察に行くことが出来ました。「市民による地域課題解決」を大きなテーマとして訪問先を選びました。また、「平成の大合併」により合併した市の市役所がどこも立派で機能的なことも印象に残りました。

■総務委員会・・・島根、鳥取方面

*雲南スペシャルチャレンジ(島根県雲南市)

ふるさと納税を使って、子どもから大人まで、様々なチャレンジを応援する仕組み。雲南市が住みたいまち1位になっている。



*ご当地ナンバー導入(島根県出雲市)

出雲市は近隣1市2町で「出雲」ナンバーを導入。市民の切り替えも進んでいる。

*出雲大好き! ターン女性支援助成金(島根県出雲市)

市外から移住した女性と雇用した事業所に助成金を出す仕組み。助成を受けるには、SNSで出雲の魅力を発信することが助成の条件となっている。

*イエローバス(島根県安来市)

民間バス会社が市内のバス路線から撤退したことを受け、市が自ら「住民福祉」の観点で運営している。事業継続のために、デマンド交通への切り替えや運行便数の検討も進められている。

*百人委員会(鳥取県智頭町)

住民による「百人委員会」の政策提案を予算化し、事業として行っている。「知恵がなければ借りればよい」という町長の言葉が印象に残った。

■新政クラブ・・・鹿児島方面

*次世代エネルギーの まちづくり(薩摩川内市)

川内原子力発電所があり、東日本大震災後、原子力発電所の安全強化とともに、太陽光、風、水力、バイオマスなど再生可能エネルギーの活用に取り組んでいる。



*ごみの再資源化(大崎町)

生ごみのたい肥化、その他のごみの再資源化を進めることにより、町から出るごみの83%以上をリサイクルしている。

*鹿屋100チャレ(鹿屋市)

鹿屋100チャレは当初首都圏の高校生から、市が抱える地域課題の解決に対するアイデアを募集した。今では全国の高校生から地域課題解決のための提案が寄せられている。

*再生可能エネルギーによるまちづくり(肝付町)

地域電力会社を立ち上げ、再生可能エネルギーの活用を進めている。



おわりに



昨年、たてやまビーチクリーンボランティアネットワーク主催で「きれいな海の絵と写真コンテスト」を行いました。応募者からは、「きれいな海を大切にしたい」「館山の海の豊かさに感動した」「海中のごみの多さに驚いた」などの声も寄せられま

した。皆さんの気持ちを大切に「きれいな海のまち館山」キャンペーンを展開したいと考えています。館山の海の魅力を発信するとともに、山や町から海へごみが流れ出ることも防ぎたいと思います。ご協力をお願い致します。